

景況

今期の業況判断DI値は-53と前期の予想DI値を16ポイント下回ったものの、実績DI値に比べると15ポイント改善する結果となりました。売上、収益、資金繰りはともに後退し、特に売上は、各業種の中で最大27ポイント悪化する結果となりました。設備投資については、前期に比べて6ポイント増加し、車両で21%の先が実施しました。

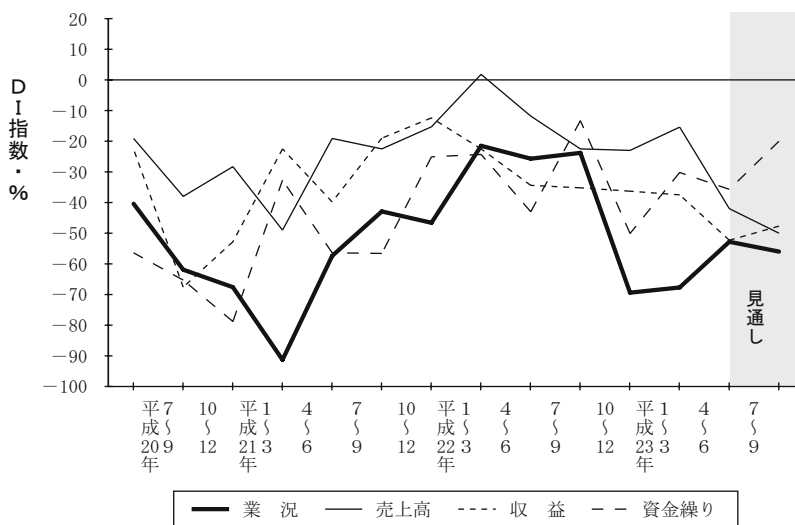
来期の予想業況判断DI値は-56と今期の業況判断DI値に比べ3ポイント小幅ながら悪化すると予想しています。売上は後退、その他収益、資金繰りはともに改善すると予想しています。設備投資については、車両を中心に今期に比べ10ポイント増加、31%の先が実施を予定しています。

調査員のコメント

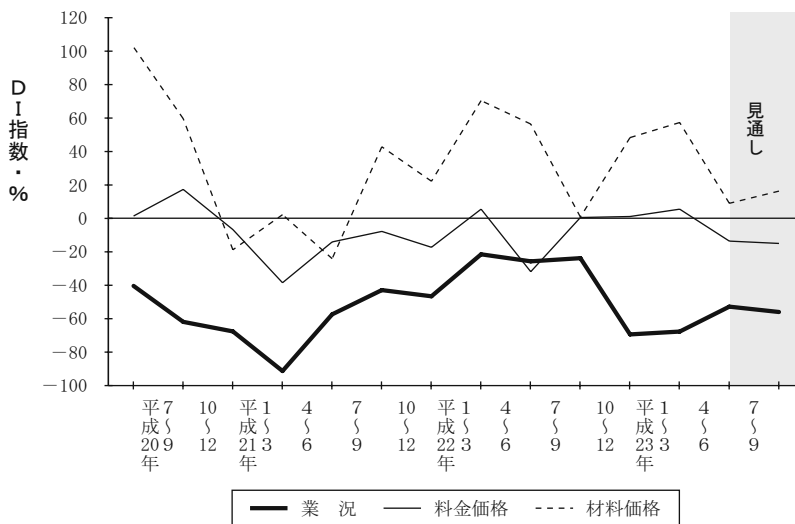
- 震災後の燃料不足により、ハイブリッド車の営業車で営業したが、台数が限られており売上に影響が出た。(タクシー業)
- 震災後、観光客の減少が売上に響いている。(タクシー業)

* 前期比：DI・季節調整済

景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況

